

50周年に向け着実に変化

ニューレジストン社長 山内 憲司氏



ほぼ横ばいの実績で推移した。市場全体ではものご下

り促進補助金を活用し、生産効率向上や合理化を目的とした設備投資案件が活発だったが、砥石を

はじめ、溶接材料や高圧ガスなどの消耗品関係は

伸びていない。言い換えれば、ユーザー自体の仕

事は苦戦を強いられた。総じて「前半上々、後半ボ

ロボテ」という感じで、売上面では前年度に比べ

この流れは新年度を迎

により半世紀の歴史を刻むことができた、と感謝している。

検討する必要がある。

その一方で、この50年間で築いてきた、営業・生産態勢、商品構成などあらゆる面を、もう一度見直すべき時期に差し掛かっていると認識して

迎えたいと考えている。特に生産面においては、従来の専用ラインから様々なユーザーニーズに柔軟に対応できる「フレキシブル生産ライン化」の構築に注力していく。同時に製品アイテムの精査・見直しも重要だと考え

一方、変えてはならないものがある。それは長年培ってきたレジストン会を中心とするお客様との絆であり、それが当社最大の財産で

来年の創立50周年に向け、一歩ずつ着実に変化していく当社を、レジストン会をはじめとする販売店には見守っていただ